

原料費調整制度による適用ガス料金の調整について
(平成28年10月検針分)

武州ガス株式会社は、「原料費調整制度」に基づき、平成28年10月に適用する1㎡当たりの単位料金を、平成28年9月検針分に適用の料金に比べ0.43円(消費税込)下方に調整させていただきます。

調整は、検針月の3か月前から5か月前まで(中2か月)の3か月平均の原料価格変動額に応じて行うもので、平成28年10月検針分の単位料金は、平成28年5月から平成28年7月の平均原料価格に基づき算出しました。

この結果、1か月に34㎡(45MJ/㎡)のガスをお使いになる標準家庭で、平成28年9月検針分に比較して、14円(消費税込)ガス料金が下がります。

供給約款料金表 (消費税込)

	1か月のご使用量	基本料金 (円/月)	単位料金 (円/㎡)		基準単位料金 (円/㎡)
			平成28年10月適用 単位料金(円/㎡)	平成28年9月適用 単位料金(円/㎡)	
料金表A	0㎡から20㎡まで	799	157.42	157.85	171.77
料金表B	20㎡をこえ50㎡まで	1,305	132.09	132.52	146.44
料金表C	50㎡をこえ200㎡まで	1,602	126.15	126.58	140.50
料金表D	200㎡をこえ450㎡まで	3,155	118.39	118.82	132.74
料金表E	450㎡をこえ750㎡まで	5,303	113.61	114.04	127.96
料金表F	750㎡をこえるもの	10,649	106.49	106.92	120.84

標準家庭における影響 (消費税込)

1か月のご使用量	平成28年10月検針分の料金	平成28年9月検針分の料金	影 響 額
34㎡ (45MJ/㎡)	5,796円	5,810円	▲14円

原料価格の変動

基準平均原料価格 (a)	41,190 円/t
平成28年5月～平成28年7月の 平均原料価格 (b)	24,520 円/t
LNG価格	33,420 円/t
LPG価格	39,230 円/t
差 額 (b-a)	▲16,670 円/t

[参 考]

原料費調整制度の概要

- ・ 為替レートや原油価格の変動等による原料価格の変動に応じて、毎月ガス料金の単位料金(ガス1m³当たりの単価)を調整する制度です。
- ・ 基準平均原料価格(41,190円/t)と「平均原料価格(料金適用月の5か月前から3か月前の3か月平均におけるLNG、LPGの輸入価格より算定)」との差額に基づいて、原料価格の変動100円につき、ガス1m³当たり0.0864円(0.080円に1.08(消費税)を乗じた値)単位料金を調整いたします。
- ・ 原料価格の変動については、LNG、LPGとも貿易統計実績によります。
- ・ 料金の大幅な上昇を避けるため、「平均原料価格」が65,900円(上限値)を超えた場合には、「平均原料価格」は65,900円としてガス料金の調整を行います。

単位料金調整額の算定方法

- ・ 平均原料価格の算定

	LNG平均価格	(貿易統計ベース)	33,420 円/t	×	0.6745
+	LPG平均価格	(貿易統計ベース)	39,230 円/t	×	0.0505
			24,522.905 円		
			↓ (10円未満四捨五入)		
			24,520 円/t		

- ・ 原料価格変動額の算定(基準平均原料価格 41,190円/tからの変動額)

$$24,520 \text{ 円/t} - 41,190 \text{ 円/t} = -16,670 \text{ 円/t}$$

$$\downarrow \text{ (100円未満切り捨て)}$$

$$-16,600 \text{ 円/t}$$

- ・ 単位料金調整額(1m³当たり調整額)の算定

$$\text{単位料金調整額} = -16,600 \text{ 円/t} \div 100 \text{ 円} \times 0.0864 = -14.3424 \text{ 円}$$

$$\downarrow \text{ (小数点第3位以下切り上げ)}$$

$$-14.35 \text{ 円}$$